

# 津屋崎祇園山笠【つやざきぎおんやまかさ】



開催場所  
開催日

波折神社  
7月19日・7月20日

## 【芸能の概要】

津屋崎祇園山笠は、1714（正徳4）年に櫛田神社（博多）から波折神社（津屋崎）に祇園社の神をお

前  
夜には、安全祈願のために、毎に在自金刀比羅神社と宮地嶽神社に走って参る「裸参り」がある。最終日の「追い山」は、「喧嘩祭り」ともいわれる荒々しく勇壮な祭りである。

## 【芸能の特徴】

津屋崎祇の山笠を奉納し、疫病、災害の退散を祈願したことが始まりである。津屋崎祇園山笠が奉納される波折神社は、津屋崎の産土神で「住吉明神」「貴布祢明神」「志賀明神」が祀られる。山笠は、漁業を中心とした「北流」、商業を中心とした「新町流」、農業を中心とした「岡流」の3つの流れで組織されている。山笠同士がぶつかり合うことも度々で、「喧嘩祭り」ともいわれる荒々しく勇壮な祭である。

江戸時代から明治、大正、昭和と続いていたが、第二次大戦中に中断。戦後再開したが昭和38年に再び中断、昭和50年に復活し現在に至る。山笠はもともと7月19日に奉納していたが、現在では19日に近い日曜に追い山を行うようになった。明治の山笠は高さが10mもあったそうである。祭りの最終日には、山が古い町並みの狭い路地を勢いよく駆け回る博多祇園山笠さながらの追い山が繰り上げられる。

### ・アクセス

西鉄宮地岳線津屋崎駅から徒歩10分

### ・周辺の観光

白石浜海岸  
寒中水泳大会(1月)、  
ビーチサッカーフェスティバル(8月)、  
子供奉納相撲(10月)

### ・近くの特産品

海産物、米、キャベツ、イチゴ。

